

日頃より愛顧いただき有難うございます。  
今年も本当に押し迫ってきました。慌ただしい歳の瀬ですが、穏やかにお過ごし下さいます様お祈りいたします。ご使用いただいておりますメガネ・補聴器の調子はいかがでしょう？年末31日まで営業しております。お困りの事はご相談くださいませ。  
さて、今回は従業員の紹介第4回目です。

加工担当 和多田 治子 52歳

お客様ともっと交流ができればと作り始めたニュースレターも4年目を迎え vol.7 を数える事ができました。“haruko's Report”の作者です。  
毎回、お読みいただき心よりお礼申し上げます。

私は、「京都生まれの山科育ち」で昭和40年代は、まだまだ田んぼが広がっていた山科盆地でのびのびと育ちました。近い山に囲まれて30歳直前まで過ごしたので、京都盆地でさえ、山が遠いなあ・・・とさびしくなる時があります。

小さい頃から絵を描くことが好きで、大学は、美術系の短大へ進学し卒業後、オフィス家具の販社に就職し、家具を販売する為のオフィスレイアウト図を製図する仕事をしていました。

主人が、オフィスコンピューターの営業をしていた頃に仕事関連で知り合いました。

結婚後は退社し、10年程前よりメガネ・補聴器の仕事を始めました。



子どもの頃から、視力が良く全くメガネに縁がなく大人になり、メガネ屋の嫁となりました。「見えにくい」実感がないので、最初は店頭でお客様とお話しをしてもなかなかうまく会話ができません。

40代半ばを過ぎると、手元が見ずらくなり「見えにくい」が実感できる様になりお客様との会話も自信を持ってできる様になってきました。

最近の楽しみは、仕事の合間に時間を作って、展覧会や画廊めぐりをして気分転換をしています。大学時代の同級生や後輩の個展を見にいくのが最近のお気に入りです。皆様に素敵なお提案をさせていただける様、これからも新しい情報を交えながらお届けしたいと思っています。末永くおつきあいの程、宜しくお願いいたします。